

## ●「第10回札幌国際短編映画祭（SAPPORO ショートフェスト2015）」の開催について

10月7日から12日まで、札幌プラザ2・5をメイン上映会場に「第10回札幌国際短編映画祭（SAPPORO ショートフェスト2015）」を開催します。

平成18年に札幌で初の国際短編映画祭として誕生し、10周年の節目となる今年は、世界99の国と地域から3,321作品の応募があり、オフィシャルコンペティション対象の100作品や、10周年記念特別プログラムなど、約200作品を上映します。

新たな取り組みとしては、インターネットなどで配信されている、企業が広告の枠を超え制作した短編映像作品「ブランデッド・フィルム」の特集のほか、子育て世代応援企画として、「ファミリー&チルドレン」の一部プログラムにおいて会場を少し明るくするなど、小さな子どもに配慮した上映を行います。

また、今年は「札幌国際メディアコンベンション」を初開催し、海外のショートフィルムマーケットの取り組みなどに関する会議のほか、ヨーロッパにおける「映像」を活用したまちづくりやビジネスの展開についての講演会等を行います。

### 1 実施概要

#### (1) オープニングレセプション

日時：10月6日（火） 開場 18：30、開演 19：00

場所：札幌プリンスホテル国際館パミール（中央区南3条西12丁目）

#### (2) 映画祭本祭

日時：10月7日（水）～12日（月・祝）

10：00～23：30（上映時間等の詳細は、別紙映画祭プログラムを参照。）

場所：メイン上映会場：札幌プラザ2・5（中央区南2条西5丁目（狸小路5丁目））

特別上映会場：シアターキノ（中央区南3条西6丁目（狸小路6丁目））

マーケット/イベント会場：イベントスペース EDiT（中央区南2条西6丁目）

料金：1プログラム（1時間30分、5～8作品）、当日1,300円、前売り1,100円。

ほか料金設定あり。詳細は別紙映画祭プログラムを参照。

#### (3) アワードセレモニー

日時：10月11日（日） 開場 17：30、開演 18：00

場所：札幌プリンスホテル国際館パミール

### 2 応募作品数

世界99の国と地域から3,321本。

※10年間の応募作品総数は世界147の国と地域から27,961本。

### 3 今年の主な取り組み

#### (1) 「札幌国際短編映画祭10周年記念特別プログラム」の創設

##### ① 「ベスト・オブ・北海道ショート」プログラム

過去5年間に映画祭で上映された、北海道や札幌出身の監督が制作した作品（北海道セレクション作品）の人気投票を行い、上位作品を特別プログラムとして上映。

##### ② 「ベスト・オブ・アニメーション」プログラム

過去の受賞作品等を集めたアニメーションプログラムを上映。

##### ③ 「アードマン・アニメーションズ」プログラム

イギリスの有名アニメーションスタジオ「アードマン・アニメーションズ」のアカデミー賞受賞作品「Creature comforts」や「ひつじのショー」を含む特別プログラムを上映。

(2) 「ブランデッド・フィルム」特集

インターネットなどで配信されている、企業が広告の枠を超え制作したエンターテインメント性あふれる短編映像作品を上映。

(3) 子育て世代応援企画

子育て世代の方が小さな子どもとともに劇場で気軽に映画を鑑賞することができるよう、毎年大人気の「ファミリー&チルドレン」の一部プログラムにおいて、館内を少し明るくするなど小さな子どもに配慮した上映を行う。

(4) 映像人材育成の取り組み

若い世代に映画の魅力を知ってもらうとともに、映像制作にも関心を持ってもらうための取り組みを進める。

① 高校生以下の入場料無料（一部プログラムを除く）

② 教育フォーラム

ア 日時：10月10日（土）10：00～11：30

イ 場所：札幌プラザ2・5地下（中央区南2条西5丁目）

ウ 内容：西区琴似を舞台に中高生が制作した映画「茜色クラリネット」の制作関係者による「2015年スウェーデン・ヨーテボリ国際映画祭」や国内の映画祭などでの上映報告など。

③ 子ども審査会

公式作品部門賞である「最優秀チルドレンショート賞」を子ども審査員が選定し、アワードセレモニーにて子ども審査員が賞を授与する。

④ アイアンフィルムメーカーコンテスト（10月3日（土）～4日（日））

大学生や社会人を対象に、24時間以内に1分の短編映画を制作するアイアンフィルムメーカーコンテストを開催。今回は、札幌国際短編映画祭10周年特別企画として、インターネットによる参加が可能となり、日本全国どこからでもエントリー可能。グランプリ作品は、オープニングレセプションで発表。

#### 4 「札幌国際メディアコンベンション」の開催について（別紙参照）

(1) 日時：10月5日（月）13:00～ショートフィルムマーケット会議（関係者のみ）

14:30～講演・パネルディスカッション（一般参加可能）

(2) 場所：札幌プリンスホテル国際館パミール

(3) 内容：札幌国際短編映画祭10周年を記念して、海外の映像関係者との更なるネットワーク構築などを目的に、ショートフィルムマーケットの活性化に向けた取り組みなどに関する会議を行うとともに、ヨーロッパにおける「映像」を活用したまちづくりやビジネス展開について事例を交え、講演・パネルディスカッションを実施する。

#### 5 国際審査員の市長表敬訪問

日時：10月9日（金）9：30～9：50

場所：市長会議室

※ 国際審査員の略歴は別紙参照

問い合わせ先

経済局国際経済戦略室海外戦略推進課（コンテンツ産業担当）江積・高橋

電話：211-2379

## 第 10 回札幌国際短編映画祭 国際審査員 略歴

### 大林 宣彦 <監督/日本>



1977年『HOUSE ハウス』により、インディーズ作家が初めてメジャー作品を東宝撮影所内で撮り日本映画界に変革をもたらす。以降「古里映画作家」として、日本古来の里の文化・志を映画で発掘、伝える。「映画は風化せぬジャーナリズム」というテーゼの元に家族で自主製作を続けている。今夏～冬は世界に向けて自主映画の旅。若い作家の育成に務めている。紫綬褒章、旭日小綬章、受賞。

### 鈴木 貴之 <監督、演出家/日本・北海道>



大学在籍中に演劇の世界に入り、1990年に劇団「OOPARTS」を結成。

「OOPARTS」解散後は、タレント・構成作家としてHTB『水曜どうでしょう』などの数々の番組の企画・出演に携わる。2001年より映画監督としても活動を開始。現在までに4作のメガホンをとる。作家としても活動しており、活動の幅は多岐に渡る。

### ダイアン・ペルネ <ファッションジャーナリスト、ASVOFF 映画祭創設者/フランス>



2008年にパリのジュ・ド・ポーム国立美術館で「シェイデッド・ビュー・オン・ファッション・フィルムフェスティバル (ASVOFF)」を主催。2009年以降は、ポンピドゥー・センターにて開催している。ASVOFF 8はファッション、スタイル、ビューティのショートフィルムのコンペティションの他、長編やドキュメンタリー作品も上映。2015年は12月2-6日の日程で開催予定。

### ウイルソン J. タン <アートディレクター/カナダ>



KABAM Vancouver の共同設立パートナーの一人でアート・ディレクター。マーベルコミックスの「CONTEST OF CHAMPIONS」アーティスティック、ビジュアルディレクションの責任者。1999-2006 まで ILM でビジュアルエフェクトのアートディレクターを務めスターウォーズ：エピソード 2、スティーブン・スピルバーグ監督の A. I.、アン・リー監督のハルクをなどを担当。

### イ・ジスン <監督・プロデューサー/韓国>



アメリカの NYU 卒業後、ニューヨークで映画プロデュースを開始。韓国でこれまで約 10 本の映画にプロデューサーまたは製作者として関わった。ユン・ジェギョン監督の『TSUNAMIツナミ-』（2009）は人口 5,000 万人足らずの韓国で 1,000 万人以上の観客を動員。2013 年、社会派作品の『公正社会』で監督デビュー。最新作の長編 2 作目「島：消えた人々」はモントリオール国際映画祭に招待され、韓国で 10 月末に公開される予定。